

善隣

No.555 通巻822

2025年（令和7年）1月1日発行（毎月1日発行）

2025

1



一般社団法人 国際善隣協会



自衛消防訓練を実施（11月21日）



消火器の使い方を学ぶ

善 隣

目 次

2025年 1 月号

新年巻頭言

- 21世紀市場経済システムの展開と米中二極体制への変遷
国際経済社会の中での日本の対応を考える
——私たちは現在どこにいるのだろうか（時の目と鳥の目で考える）
.....井出亜夫 2

公開講演会記録

- 海の温暖化の現状と魚
——健全な海を次世代につなぐために金巻精一 11

- 古代史探究の面白さと難しさ
——古代とつながる今の地を訪ねる相澤省一 18

- 陶々俳壇馬場由紀子 27

- 中国ウォッチング編・訳 上松玲子 28

- 協会通信・会員だより・同好会だより 30

- 2025年 1 月の行事予定 31

—— 善 隣 第555号 通巻822号 ——

2025（令和7）年 1 月 1 日発行

発行所 〒105-0004 東京都港区新橋 1-5-5
一般社団法人 国際善隣協会

TEL 03（3573）3051
FAX 03（3573）1783

発行人 井出亜夫

編集人 朝浩之

編集協力 山谷悦子

印刷所 旬ゆにおんプレス
TEL 048-834-1201

定価 一部400円 年額4,800円

振替 00120-0-145956

国際標準逐次刊行物 ISSN 0386-0345

©禁無断転載

- みんなの写真館 30
（姜晋如、新宅久夫）

当協会は、中国ならびに近隣諸国
との相互理解を深め、友好親善・交
流を推進しています。

一般社団法人 国際善隣協会

新年巻頭言

21世紀市場経済システムの展開と米中二極体制への 変遷 国際経済社会の中での日本の対応を考える

—— 私たちは現在どこにいるのだろうか
(時の目と鳥の目で考える)

国際善隣協会会長 井出亜夫



はじめに

もの心ついたとき、戦争で父親を失った友人が母親一人で育てられている状況、満州から引き揚げてきた家庭の生活の大変さを観察し、戦争の悲惨さを実感した幼少期でした。大学卒業後、通産省に入省した当時(1967年)、日本は未だ中進国でした。OECD加盟後3年目に当たるこの年「資本自由化」の義務を負い、GATTケネディ

ラウンドが妥結し、日本はこれに対応可能か不安を抱えていましたが、結果としては、恵まれた国際環境と日本人自身の自助努力の結果、約20年の後ジャパン・アズ・ナンバーワンと言われる時代を迎え、国際的評価を得ました。この間に、ニクソンショックによる金ドル交換停止(1971年)、スミソニアン体制から変動相場制(1973年)などを経て1ドルは、360円から現在150円前後で推移しています。英国の歴史家E・H・カーは、「歴

史とは過去と現在の対話である」と言っています。私はこれに加え「将来の展望」であると考えています。

今日、日本の現状は、失われた20年、30年という時代から未だ脱却できず、また、過日の総選挙の結果に見られるごとく、第三の開国を展望することが未だできない現状で様々な課題を抱えています。

一方、世界の情勢は、中国の台頭により、米国一極集中から、米中二極体制が進んでおり、その米国も過日の大

統領選に見られるようにトランプの復活という混乱が生じています。

こうした中で、日韓併合、対華21か条の要求、満州事変、日中戦争と負の歴史をたどったわが国は如何なる対応の下に、中国、アジア諸国との対話を進め、明治維新、戦後改革に続く第三の開国をするべきか、また、国際善隣協会の目的（中国およびその他の善隣諸国との相互理解を深め善隣関係の増進に寄与する活動を行うとともに会員相互の研鑽、親睦を図る）とする役割を考え、広報活動、講演活動に資してまいりたいと思います。

長野県阿智村に設立された満蒙開拓平和記念館は、設立の趣旨に「満蒙開拓に辛苦した人々を偲ぶこと、当時の国策の誤りを反省すること、中国人から土地を奪ったことを詫びること、残留孤児を世話してくれた中国人に感謝すること」を掲げ、戦前ナチスの下で東欧侵略を企てたドイツ関係者との交流も図っています（「ドイツにおける過去の克服」『善隣』2019年6月号掲載）（『荒れ野の40年―ヴァイツゼッ

カー独大統領演説全文』参照）。

以下、日本の現状、世界の状況変化を時の目、鳥の目で、私の観察・認識を記すとともに「グローバル世界を早く認識した先人」と「今日の利益至上主義批判をした先人」の言、書を掲載いたします。

佐久間象山（1811～64）

「余歳二十以後乃知匹夫有繫一國三十以後乃知有繫天下 四十以後乃知有繫五世界」。

訳：「余歳二十以後匹夫（自分）の一国（松代藩）に繋がり有るを知る三十以後天下（日本）に繋がり有るを知る 四十以後五世界に繋がり有るを知る」（右）。

注：松代藩から江戸に出、ペリーによる黒船来航に直面した象山の人生行路の感慨を端的に著したものでしょう。開国論者（幕末のグロバリスト）であった象山の面目躍如たるものがあります。

近衛篤磨（1863～19

04）

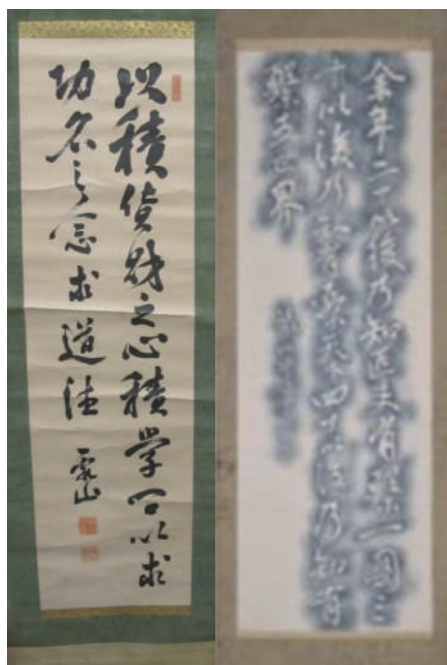
明治期藩閥政治を批判。「貨財を積むの心を以て学問を積み 功名を求むる念を以て道徳を求む」（左）。

注：孔孟思想が偲ばれる。『菜根譚』の一節。

I 21世紀の市場経済システムの現状

1. 今日の市場経済システムに対する問題の指摘

リーマン・ショックは、100年に一度の世界経済危機と言われましたが、それも束の間、世界はコロナウイルス・



佐久間象山 書(右)／近衛篤磨 書(左)

パンデミックに直面し、今日改めて現代人類社会の脆弱性が浮き彫りにされています。これは、「20世紀を律した市場経済システムの枠組み」が対応力をもちえなくなり、従来の市場経済システムにパラダイムシフト（思考と枠組みの変化）が求められているのではないのでしょうか。この機会に、現代の市場経済システムの問題点を考え、我々の対応の参考にしたいと思います。

冷戦の終結により、市場経済の楽観論・永続性が言われました（フランシス・フクヤマ『歴史の終わり』、トーマス・フリードマン『フラット化する世界』）が、現実の進展は、貧富の格差拡大、気候変動・地球環境問題、实体经济から離れた金融の実情などにより市場経済システムの永続性が問われています。トマ・ピケティ著『21世紀の資本』が世界的ベストセラーとなりましたが、前後してこの問題への指摘は様々に及んでいます。

現代市場経済システムの問題点を指摘した論者の例

- (1) アマルティア・セン 経済哲学者。経済学の再生・道徳哲学への回帰を唱え、今日の経済学は合理的愚か者の分析学に墮落したと批判。
- (2) マイケル・サンデル 社会哲学者。市場経済原理主義、功利主義から新しい『公共哲学』（共同体主義）への移行を提唱。
- (3) フィリップ・コトラー マーケティング学者。従来のマーケティング論は、世界人口70億人のうち、わずかの大富豪、富裕層、中産階級など約20億人のみを対象としているが、残りの50億人も対象とするマーケティング論が必要だ。
- (4) 宇沢弘文 経済学者。地球環境、地域社会、都市計画、交通・通信、教育、医療・福祉、金融などは、「社会的共通資本」である。この概念を組入れた市場経済の構築が、市場経済を持続可能にするものである。
- (5) マイケル・ポーター 経営学者。企業の社会的責任とは、社会の課題と事業活動を統合することである。
- (6) リン・シャープ・ペイン 経済倫理学者。『バリューシフト―企業倫理の新時代』。今日、企業に期待されていることは、富の創造、優秀な製品とサービスの提供ばかりではない。今日の社会は、道徳的な人格を企業に付与している。
- (7) ジョン・ケイ 国際金融経済学者。『金融に未来はあるか』。ベルリンの壁崩壊に伴うグローバル経済の進展、市場主義指向が強まる中で、实体经济をサポートする役割を担う金融がこれから遊離・膨張し、その破綻によって逆に实体经济に大きなダメージを与えた（リーマン・ショック）。この主客転倒の関係を正常化する知恵と方法はないものであろうか。
- (8) ビル・ゲイツ マイクロ・ソフト創始者。今日の市場経済システムは、購買力を持つ需要にのみ対応し、真のニーズに対応していない。市場経済システムには不備がある。この不備を改善するためには、さらなる技術革新よりもシステムの改革が必要である。実践活動として、ビル・ゲイツ財団を創設。

(9) ムハマド・ユヌス「3つのゼロ、失業0・貧困0・CO₂排出0の世界」を提唱。グラミン銀行総裁。ノーベル平和賞を受賞、今日、バン格拉デシュ暫定政府の首席顧問を拝命。

(10) 大澤真幸 社会学者。『新世紀のコミュニズムへー資本主義の内からの脱出』、普遍的連帯の可能性、脱成長の絶対知を展望。

(11) 斎藤幸平 経済思想家。格差の広がり、環境負荷の増大により、私有から共有社会への転換が時代の要請と主張（『人新生の「資本論」』）。

2. 「成長の限界」などに始まる成長至上主義への警告と地球サミットへの流れ

1962年レイチェル・カーソンは『沈黙の春』において農業・自然界と化学製品の相克問題を提起し、1972年ローマ・クラブは『成長の限界』を提示しました。同年、スウェーデン・ストックホルムにおいて「国連人間環境会議」が開催され、先進工業国においては経済成長から環境保全への転換

が、開発途上国における開発の推進と援助の増強が重要とされました。

しかし、この動きは、石油ショックの発生などにより、20年後リオ・サミットまで待たなければなりませんでした。

1992年、ブラジル・リオデジャネイロで「国連環境開発会議」（地球サミット）が開催され、「環境と開発に関するリオ宣言」、持続可能な開発のための行動計画「アジェンダ21」に加え、気候変動枠組条約、生物多様性条約の署名が開始され、持続可能な開発が、人類の安全で繁栄する未来への道であることが議論・確認されました。こうした動きは、一連のCOP会議（気候変動枠組条約締約国会議・第1回1995年）、2030年達成を目指した国連SDGsの動きとなって我々に問いかけています。

国連SDGs—2030年達成を目指した17の持続可能な開発目標

2015年国連サミットにおいて合意。しかし、安全保障面に関し国連は、ロシアのウクライナ侵略、中東紛争を

止められないのが現実である。

①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダーの

図1



平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任・つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさも守ろう、⑯平和と公正をすべての人に、⑰パートナーシップで目標を達成しよう。

17の各目標ごとに約10項目、合計169項目の課題が掲げられており、ここには、今後の経済システムのあり方を示す多くの課題が示されている(図1参照)。

3. 企業の社会的責任(CSR)、環境・社会・ガバナンス(ESG)とその新しい潮流

CSRは、如何に社会の課題を事業活動の中で具体的に展開するかにかかっています。

・企業は、ポスト産業資本主義社会における「組織社会の性格、組織の社会

的責任」を銘記し、CSRと経営者の役割を「経営理念、経営方針、経営計画」の中で展開することが不可欠です。・企業活動は環境・社会・ガバナンス(ESG)を如何に反映・実施しているか、投資家、融資者、消費者などの視野で評価する動きも始まっています。・この動きを掛け声だけでなく如何に促進し、評価するメカニズムを如何に作るかも重要です。

要は、「利益(効率・効用)第一主義からの離別(ミルトン・フリードマン流シカゴ学派的経済学からの決別)」を如何に進めるかが問題とも言えます。

4. ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)に代表される情報革命の進展、その功罪

情報化社会の進展は、新型コロナウイルス・パンデミックの中でもその度合いを強め、今回のコロナウイルスへの対応においてもビッグデータの活用、AIの利用は、情報の分析、伝達にさらなる革新・変化を加え、働き方、e

コマースなど生活様式にも変化をもたらし、また都会への人口集中を逆転し、地方の疲弊の是正・振興に新たな手掛かりを与えることも期待されています。

情報革命は、産業革命同様止めることのできない必然的現象であります。産業革命・市場経済の拡大、展開の中で進められた各種民主化提唱運動(「共産党宣言」「資本論」「アーツ&クラフト運動」、労働組合運動、消費者運動、協同組合運動、政治的民主化運動など)といった様々な社会的対応も振り返りつつ、情報革命を展望し、対応することが必要でありましょう。

この動き(AIとDXの活用：人工知能、デジタルトランスフォーメーション)に対し新しいルールが必要でありましょう。

- i 情報保護・管理。
- ii 情報独占(GAF Aの事例) 排除―独禁法の情報版。
- iii 国境を越えた税制のあり方。
- iv 情報格差・情報デバイドによる貧富の格差拡大、その対応策。
- v 軍事への転用を如何に管理するか

『Tools and Weapons—誰がテクノロジーの暴走を止めるのか』マイクロ・ソフト社幹部B・スミスの指摘）。

vi その他の利害（「SNSの利点と弊害」の見極め）確認とルール作りなどの努力が求められる（近年SNS被害「誹謗中傷など」の視点が漸くクローズアップされつつある）。

一方、物理的距離の制約、組織の大小の不利を克服し、また、人々の孤立を防ぎ、相互依存関係を再認識させるなど市場経済システムの永続性を如何にして高めるか、現代人の知恵が試される大きな問題でもありましょう。

5. 日本経済・社会の現状

平成の30年間（所謂失われた30年）は、日本の活力の喪失、経済成長力、生産性、財政の健全性、社会保障制度の維持・可能性、高等教育の質、技術革新力、企業の国際競争力、情報産業・金融の成熟度、人口構成、女性の社会的地位、法律・規制制度の合理性、労働力市場の流動性、衰退産業の淘汰・

転換など活力を左右する指標において相対的地位の劣化を招いていると言われています。

少子高齢化社会（人生60年時代の制度設計が人生80年、90年時代に継続）、異常な財政赤字構造（主要国中際立って大きいGDP比財政赤字）、これを補完する日銀の国債保有累増（行財政改革と社会保障改革は政権の最大課題であるが具体的提案を与野党ともに示していない）、東京一極集中・地方の疲弊、アジア諸国との友好、女性の社会的進出などの諸問題を具体的に如何に解決するか、これらに関し、政治的合意とそれによる制度構築の必要性は時間を待てません。

一方、1998年NPO法の制定（公益を巡る日本民法法の遅れ、公益は政府が司るもので、市民が参加する社会の形成を遅ればせながら先導、法施行以来約5万団体設立。非営利法人設立のための民法改正）、環境基本法、循環型社会形成基本法と拡大生産者責任そして消費者責任（消費者基本法）の新しい流れもあります。

重要なことは、課題を絞り込み、着実な実績を示すことでしょう。

このためには、改革の諸課題の背後にある以下の問題に対応しうるかが問われています。

組織のあり方と個人の自立

企業を中心とするわが国の組織および個人は、如何なる対応を取りうるか。福沢諭吉が明治時代に深くとらえた独立自尊の課題は、ここに改めて提起される。

加藤周一『日本文学史序説（上・下）』（ちくま学芸文庫）、中村元『日本人の思维方法』（春秋社）などが鋭く分析する日本の伝統的思想（体系的価値観の欠如―所属集団への強い帰属意識、論理的思考の欠如）、与えられた状況への対応、蛸壺型社会（丸山真男『日本の思想』）はどう克服されるか。

リベラルアーツと時の目、鳥の目で見える歴史観

人間の相対性、相互依存性あるいは全体と部分を理解・認識するうえで、リベラルアーツ（文学、歴史、哲学など）、歴史意識（過去を振り返り、現

状を評価し、将来展望の中で現状を位置づける）の必要性は一層高まっている。

明治以降今日に至る日本の教育は、近代化に資するテクノクラート養成に主眼が置かれ、リベラルアーツ、人間、社会、歴史、サイエンスの本質に迫る意識を埋没させることにならなかったか。

Ⅱ 米国一極集中から米中二極体制への変遷とその中で日本の対応

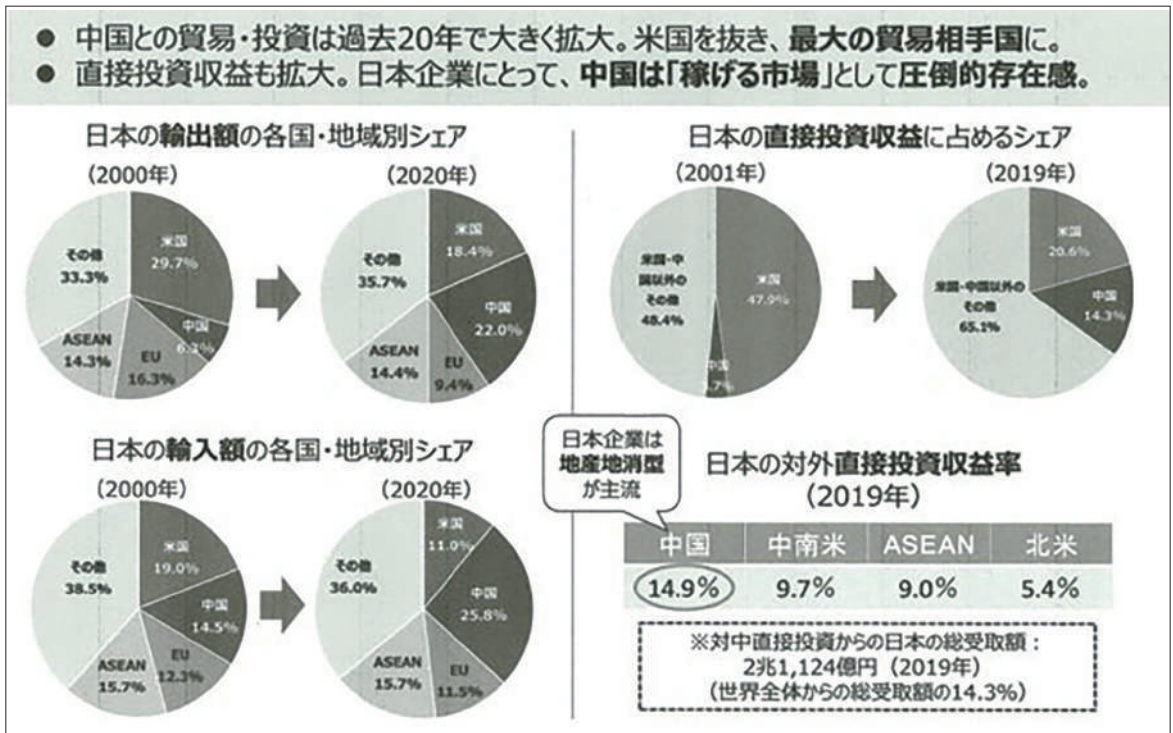
1. 戦後世界経済発展の経緯

中国およびアジアの発展を如何に評価するか、また日本はこれと如何なる関係を築くかが問われています。

以下日中の経済関係の推移を観察してみましよう。

アンガス・マディソンは、かつてアジア世界は欧米を凌駕していたが、産業革命がそれを覆したことを指摘しています（清朝最盛期乾隆帝の時代、中国は世界最先進国だった）。

図2 日本企業にとっての中国（中国市場の存在感）



ASEAN諸国の動向。1967年ベトナム戦争を背景に域内の安定を試行した政治組織5か国（フィリピン、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア）で形成されましたが、戦争終結後、ブルネイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーを加え10か国（域内人口6億2000万人）で多国間経済共同体を結成しました（2015年）。欧州で形成されたEUとは違い、緩やかな経済共同体でありますが、グローバルサウスの新しい展開を目指すものがあります。

表1 世界経済の多極化

●1992年／2023年の世界経済構成比

	1992年	2023年
G7	68.1%	44.8%
BRICS	5.5%	24.7%
その他のG20	7.4%	8.9%
その他	19.0%	21.6%
日本	15.7%	4.0%

●主要国の GDP シェア推移

国名	1992年	2009年	2023年
日本	15.7%	8.7%	4.0%
アメリカ	25.8%	19.9%	26.2%
ドイツ	8.4%	5.6%	4.3%
イギリス	5.1%	4.0%	3.2%
フランス	5.5%	4.4%	3.2%
イタリア	5.2%	3.6%	2.2%
カナダ	2.3%	2.3%	2.0%
中国	2.0%	7.9%	16.9%
韓国	1.6%	1.6%	1.4%
インド	1.1%	2.1%	2.0%

出所：工作機械技術振興財団安達理事長資料

訪中がなされたことを銘記する必要があります。世界第二の大国となった中国は習近平体制の下、中華民族の再興を呼びかける一方、小康社会（国民がほ

どほどに豊かになる社会）の建設から共同富裕の促進（2035年）、三農問題（農村、農民、農業）の解決、先端産業の育成などを進める一方、特許大国を実現しています。対外的には一帯一路政策を進めるとともに人類共同体社会を提案しています。また、今やG7の会合は、G20との連携なしに進展

2. 21世紀の世界秩序は、米国一極体制から米中二極体制へ転換
世界の情勢は、米国一極体制から米中二極体制の色彩が徐々に強まり、米大統領選挙に見られるごとく、米国民主義・市場経済なるものの実態を露呈（貧富の格差拡大、先進社会に当然な社会保障制度の不備、米社会に根づく人種差別現象など）する一方、中国を念頭においたデカップリング政策の動きとなっています。大統領選の結果と将来展望・動向を見極めることが一層必要でしょう。

デカップリング政策を唱える米国も一方では政府当局による対中対話・交流は、わが国政府関係者の対話を遥かに凌ぎ、また、米国経済自身に対中関係もデカップリングの言葉ほど進んでいません。これは米国自身の対中政治経済関係の重さを示すものでもあります（図2参照）。また、冷戦体制の下、かつて極秘裏にキッシンジャーの訪中がなされ、ニクソン

図3 2019年 世界のGDP（経済産業省作成）

* 2022年に日独逆転

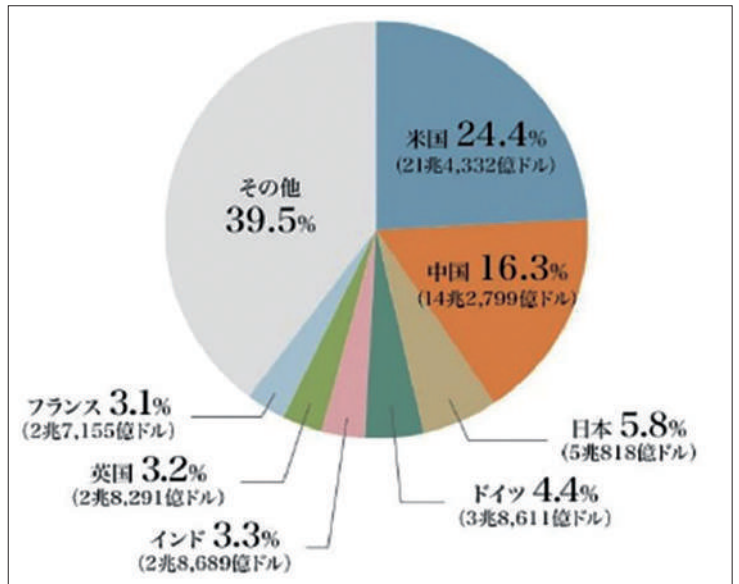
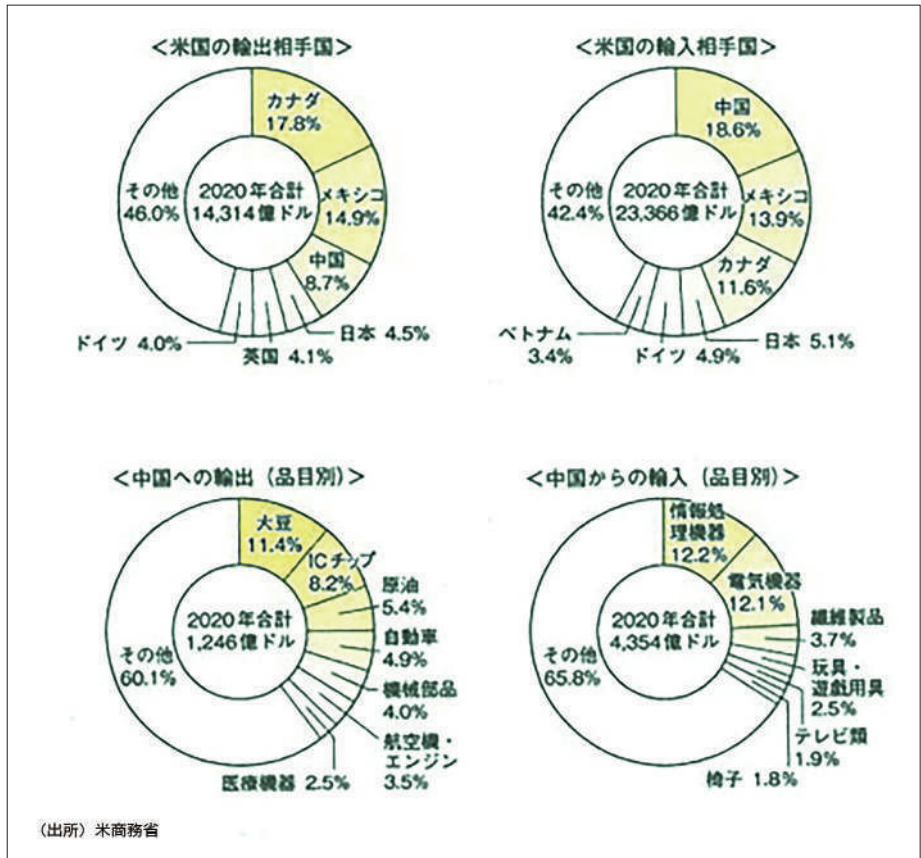


図4 2020年 米国の輸出入相手国および対中国輸出入（品目）



おわりに

以下の東洋思想および典籍を紹介し、日中両国の発展的対話とグローバル社

念を超える発想。

と。仲尼は所謂大公なり」。国家の概

て曰く、「惜しいかな、其の大ならざる。亦人弓を遺ふも人之を得んと曰は

んのみ。何ぞ必ずしも楚のみならんや」

会発展を期したいものです。

(1)前漢・劉向『説苑』

「楚の共王出獵して、その弓を遺ふ。左右之を求めんとを請ふ。共王曰く、「止めよ。楚人弓を遺ふも、楚人之を得ん。又何ぞ求めん」と。仲尼（孔子）これを聞き

(2)「先憂後楽」北宋・范仲淹（989（1052）「岳陽樓記」末尾の一節。「天下の憂いに先立ちて憂え、天下の樂しみの後に樂しむ」。指導者の心得を記したもの。

(3)マハトマ・ガンジー インド独立運動指導者。彼が言う現代社会七つの大罪とは、原則なき政治、道徳なき商業、労働なき富、人格なき学識（教育）、人間性なき科学、良心なき快樂、献身なき信仰。

(4)宮沢賢治（1896（1933）作家、農民指導者。日蓮宗の影響を受ける。

「われらはいっしょにこれから何を論ずるか……〔中略〕世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない／自我の意識は個人から集団社会宇宙と次第に進化する／この方向は古い聖者の踏みまた教へた道ではないか／新たな時代は世界が一の意識になり生物となる方向にある／〔中略〕われらは世界のまことの幸福を索ねよう（『農民芸術概論綱要』）。

公開講演会記録

海の温暖化の現状と魚

健全な海を次世代につなぐために

マリンパートナーズ代表 金巻精一

はじめに

海洋環境問題は、数年前までプラスチック問題や乱獲問題などの話題が主でした。この時期には、日本もノルウェーのような欧米型資源管理を取り入れることが良いという議論が多くありました。その後、ウクライナ侵攻が招いた小麦の価格高騰などが引き金となり、食料安全保障の視点でも議論がなされるようになってきています。

現在は円安が進み、食料を輸入に頼る我が国では、自給率（1992年度

の自給率38%）の向上と自由貿易の確保の両面の対策が不可欠です。特に動物性タンパク質の確保は今後世界的な大きな課題と考えられています。日本の食用魚介類の1992年度自給率は、56%とかなり高くその重要性が増すものと考えられています。

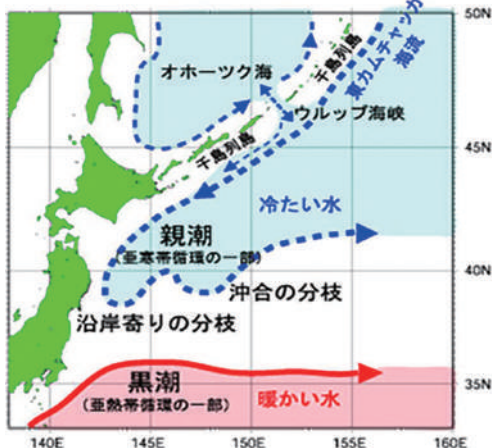
海の温暖化も顕著になっており、魚介類の急激な資源減少や魚類などの北への移動についての議論も始まっています。世界6位の広さの排他的経済水域をもつ、我が国の海洋環境、豊かな魚介類、その他の海洋資源を健全な形で次世代に残すことが今後の日本の大

きな課題です。

1. 日本の漁場環境と漁業の現状

図1に示すように、日本周辺の海表

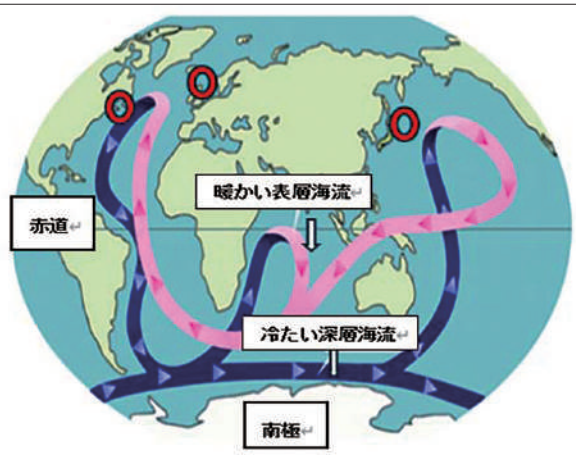
図1 日本周辺の海流 黒潮と親潮



(出典：気象庁 HP「海水温・海流の知識 親潮」)



図2 海洋大循環概念図（フロッカー博士によるコンベヤーベルト理論）



（出典：日本海洋学会環境問題研究会による図を改変。
○は世界三大漁場の位置を追記）

面には、南からの栄養が少ない暖流「黒潮」と北から栄養に富んだ海流「親潮」が南下してきます。三陸沖から北海道の太平洋側まで、寒流と暖流がぶつかり、北の魚介類と、南の魚介類が集まる、いわゆる世界三大漁場の一つを形成しています。

また、図2に示すように、カナダからノルウェー沖の北大西洋北部海域で冷やされて深海に沈んだ深層循環流（海洋大循環と呼ばれます）が中部太平洋（ハワイと日本の中間水域辺り）に湧昇し、大量の栄養を運んできます。このように水産物の棲息にベストな

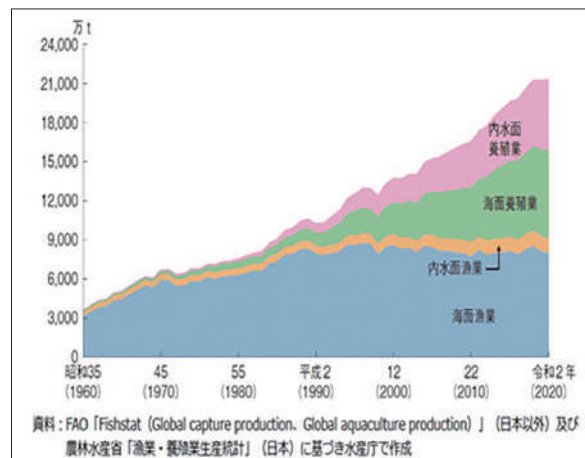
海洋環境をもつ北西太平洋に位置する日本は、世界でも最も魚介類に恵まれた国なのです。

近年、藻場・干潟の減少、環境悪化、乱獲などによって、日本の水産資源は減少しつつあります。さらに、人為的な温暖化ガスの排出が主原因の地球温暖化によって急激に海洋生態系が崩されようとしているのです。2018年から新たな資源管理方法が実施され、いくつかの重要種については漁獲量を制限する漁獲可能量（TAC）制度も始まりました。しかし、既に温暖化が魚介類の急激な変化をもたらしているため、資源管理が難しく、一部の魚種しか資源管理の効果が得られていません。近年頻発している魚介類の大量死などの異常現象は、人類が排出した温暖化ガスによる地球環境破壊への警鐘です。

2. 世界と日本の漁業生産量

図3に示すように、世界全体の漁業生産量は、各国の旺盛な水産物需

図3 世界の漁業生産量の推移



（出典：水産庁 HP）

要を反映して大きく増加しています。しかし漁船漁業による漁業生産量は、1985年頃から頭打ちの状態が続き、需要を満たすため、養殖生産量が大きく増加しています。

一方我が国の漁業生産量は、図4に示すように、1984年をピークに減少傾向が続いています。1982年に国際海洋法条約により、200カイリ排他的経済水域が設定され、遠洋漁業は急減しました。同時に図中実線で描かれたマイワシ漁獲量の急減と重なり、漁業生産量の急激な減少となりました。その後も、漁業者の高齢化と後継者不

足や資源の減少などにより、漁業生産量は減り続ける結果となっています。発展途上国や漁業への参入障壁がない、または参入を奨励している国の漁獲量は、1980年代後半から急速に増加しています。一方、欧米の国々では、様々な漁業管理の方法（漁業許可制度や技術的な規制）が導入されています。主要な魚種については、総漁獲

図4 日本の漁業生産量の推移

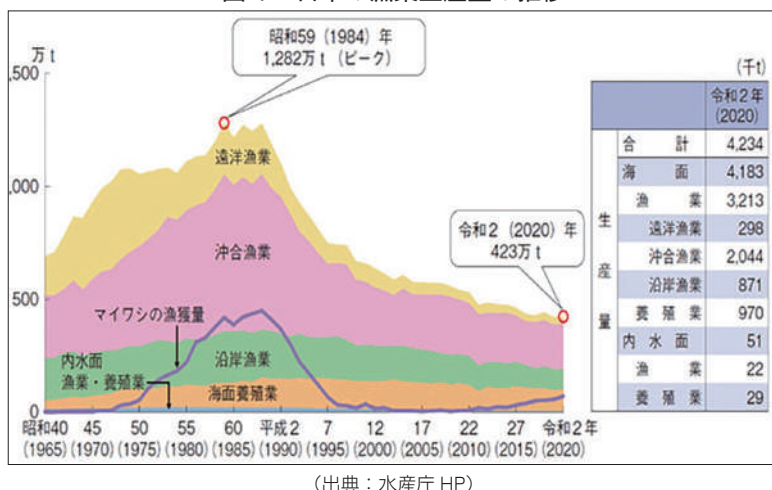
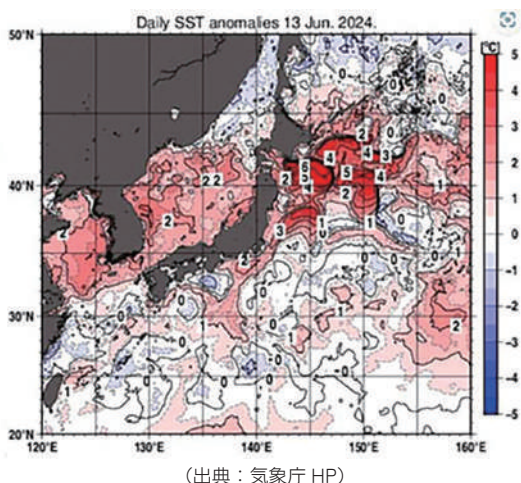


図5 日本周辺水域の表面水温の平年値からの差



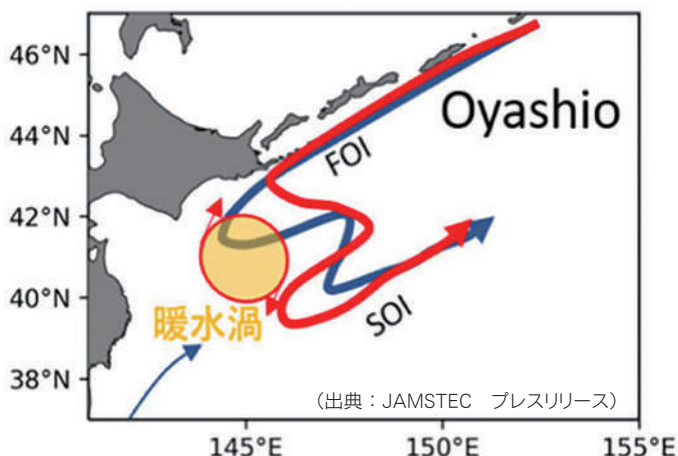
可能量制度も進んでいます。しかし、最近ではどの国でも漁船漁業の漁獲量が横ばいか減少しています。このような背景から魚介類は、各国による争奪戦の状態になっています。

3. 日本周辺水域の温暖化

日本で海の水温を継続的に計り始めた1880年から既に徐々に海の水温は上昇傾向にありました。さらに2017年頃から黒潮の大蛇行が始まり、既に7年も継続しています。今までになかった現象です。図5は2024年

図6 黒潮の蛇行と海洋熱波

青色：従来の親潮の流路、赤色：黒潮大蛇行時の親潮の流路



6月の表面水温平均値からの水温上昇を示しています。特に三陸沖から北海道の太平洋側で平均より6度も高い異常な高温が観測されています。このように産業革命後のCO₂排出量の増加や黒潮の蛇行の影響で、日本周辺の海は温暖化が急激に進み、世界でも最も水温上昇が顕著な海域となっています。図6に示すように、蛇行して北上する黒潮により、従来北海道沿岸にまで南下していた親潮が南下を妨げられ、

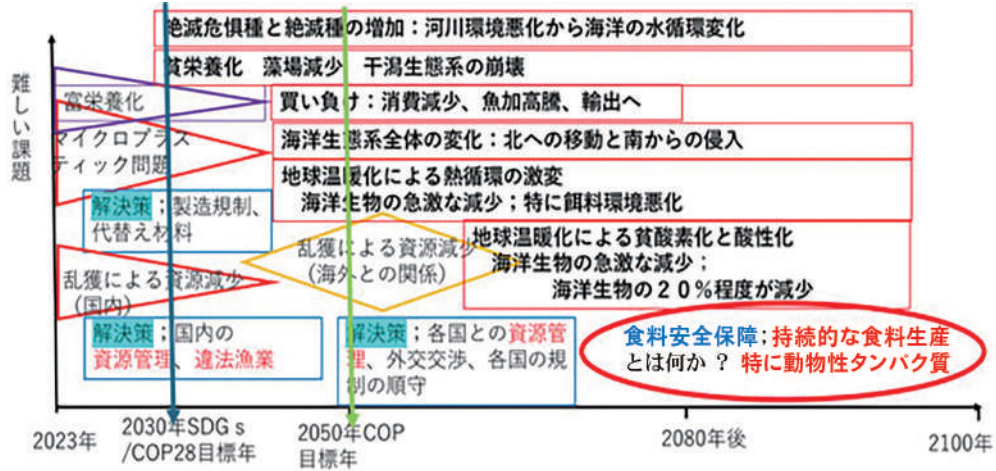
黒潮から分離した暖水の渦（暖水渦）が発生します。このように異常な海水温の上昇「海洋熱波」が頻発し、鮭やサンマの南下が抑えられています。海流の変化に伴う海洋熱波の発生は、チリ沖、地中海、ニュージーランド、オーストラリアなど世界各地で観測されています。

表面の海水が暖かくなると、軽い海水が表層を覆うため、海水の上下混合が減って溶存した酸素が海底まで届かず海底の酸素が減ってきます。温暖化の影響がついに深海にまで及んできているのです。

4. 魚介類の異常

日本でもここ数年、多くの魚介類の突然の大量死、北への移動、異常な大発生、不漁や魚種の変化などが起こっています。温暖化の影響が多くの魚介類の異常の一因となって顕在化してきました。このような異常は、日本だけの現象ではありません。世界各国で報告されています。

図7 現在から2100年までの海の温暖化と起こりうる異常



5. 現在から2100年までの海の温暖化と起こりうる異常

図7に図示したように、現在、藻

場、干潟の減少、マイクロプラスチック問題、乱獲や違法漁業と資源管理の問題、富栄養化や赤潮による養殖魚の死滅、多国間で協調した資源管理、魚介類の北への移動、買い負けなどが大きな問題となっています。

温暖化対策としては、今後のCO₂削減の達成目標年2030年(2013年比46%削減)と2050年(カーボンニュートラル実現)を確実に達成する必要があります。この間にも絶滅危惧種の増加、水域の貧栄養化、藻場や干潟生態系の崩壊、魚介類の北への移動などは継続します。さらに今後危惧されている、海の酸性化など全ての水産資源を脅かす多くの変化が継続します。温暖化による各生物の産卵場の移動、孵化時の餌料環境の変化は、孵化した幼生の生死を決定づけることにもなります。また海がCO₂を吸収すると、海水のpH(水素イオン濃度)が下がり、海水が酸性になっていきます。酸性化が進むと殻をもつ海洋生物(サンゴ、貝類、殻をもつプランクトンなど)の殻を溶かし、死滅させてしま

ます。特に孵化した幼生に大きな打撃を与えます。このような数々の温暖化に伴う海の変化により、今世紀中に海洋生物が大きく減少するとの推論も出ています。特に、動物性タンパク質を魚介類からも多く摂取している我が国の食料安全保障にも大きな影響を与えることとなります。

『ナショナルジオグラフィック日本版』2011年10月号によれば、新生代初頭6500万年前頃に今回よりも激しい温暖化の時期が確認されています。原因は海底のメタンハイドレートの融解と推測されています。この突発的な融解が数百年続き、大気中のCO₂濃度は現在の化石燃料を全て燃やした程度になったと推測されています。この年代に絶滅した生物と適応した生物により生物相は大きく変化したと考えられています。CO₂濃度が元の状態に戻るには16万年程度を要したと推定されています。この古代の現象を考えると、現在の温暖化ガスの排出を極力早く削減し、現在以上の温暖化を阻止すべきと考えます。

6. 持続的な食

温暖化による気温や海水温の上昇が、人間の食に大きな影響を与えることが危惧されています。世界自然保護基金(WWF)では、今後も持続的に生産が可能な食材を「持続可能な」未来の食材50」というレポートで11の事例を報告しています。

それは①藻類、②豆類、③サボテン、④穀物、⑤果物野菜、⑥葉物野菜、⑦キノコ、⑧ナッツ、⑨根菜類、⑩もやし類、⑪根茎野菜です。

動物性タンパク質は出てきません。表1に日本のタンパク質食品などの自給率を整理しました。動物性タンパク質は生命を維持するために最も重要な栄養源ですが、自給率は全体で36%と低く、輸入食材も多く、さらに国内で製造される食肉の飼料、農業用の肥料はほぼ海外からの輸入に頼っています。自国の飼料・肥料で生産可能なタンパク質食材は大豆、乳製品、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵など軒並み低い自給率となっ

ています。

さらに現在の飼育・生産方式では畜産、農業ともにCO₂に加えメタンや一酸化二窒素などの温暖化ガスの排出も多く、動物性タンパク質の生産方式の改善も喫緊の課題となっています。その中でも魚介類は、現在の自給率も比較的高く、海が健全に機能していれば、海の力を借りて、比較的少ないエネルギー消費(CO₂排出量)で生産できる動物性タンパク質と考えていま

表1 タンパク質食品などの自給率(2022年)

品 目	カロリーベース	備 考
全 体	約3.8%	
大 豆	約6%	輸入肥料による生産を削除
乳 製 品	約10%	輸入飼料による生産を削除
牛 肉	約13%	同上
豚 肉	約6%	同上
鶏 肉	約9%	同上
鶏 卵	約13%	同上
魚介類(食用)	約49%	魚粉飼料による生産は考慮せず
海 藻 類	約67%	

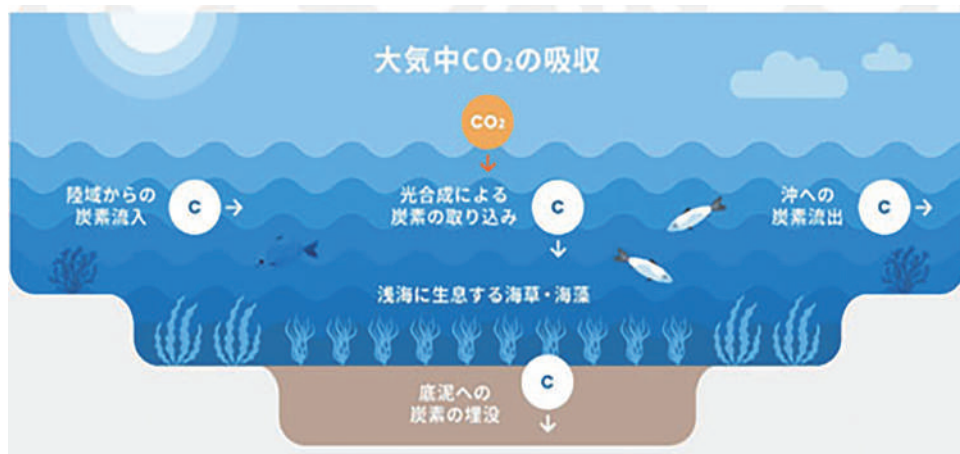
す。タンパク質以外の含有脂質（EPA、DHA）も含め、日本の今後のタンパク質食品確保の最重要分野と考えられます。

7. 海と水産に関する対策と新たな挑戦

日本の気候変動対策は①緩和策（温室効果ガスの排出削減と吸収対策）、②適応策（悪影響への備えと新しい気象条件への適応）に分けて検討されています。このような温暖化対策は、日本全体、全庁、全産業で取り組まれています。政治的な発言では、エネルギーミックスに絡む問題が主となっています。水産業を所轄する水産庁は、2006年に資源管理研究セクションを増強して、資源管理を強化する方向に組織を改編しました。しかし、温暖化による水産生物の移動や資源の減少も相まって、資源管理の成果は十分現れていません。その後水産庁2021年6月に北海道太平洋水域でのサンマ、鮭、スルメイカについては、温暖化の

影響で漁獲量が減少していると公式に発表しました。温暖化への水産の対応が大きく遅れています。このような対策の遅れは、海に対する縦割り行政と、海の環境保全や生態系の保全に対する政府の長期的視点のなさによっています。温暖化を軽視した結果、温暖化が引き金となる、全く新しい異常現象には対応ができない現状となっています。今後のさらなる資源減少につながる海の温暖化にどう対応するのかが問われています。緩和策の一つとして、2009年に国連環境計画（UNEP）が提唱し世界的に注目が集まっている、CO₂削減対策「ブルーカーボンプロジェクト」が挙げられます。図8に示すように、海藻を増やすことで海藻は、陸域からの栄養塩と大気中のCO₂を吸収し、光合成によって成長します。言い換えるならば、「海洋植林プロジェクト」と도言えます。海藻は成長も早く、藻場の地中に堆積し、また流れ藻となって最終的には深海に堆積して大気中のCO₂を海底下に封じ込めることが期待されます。日本政府も数年

図8 ブルーカーボンプロジェクト



（出典：環境省 HP）

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合資料に基づき作成

前から各地で実施されるブルーカーボンプロジェクトに予算をつけ始めました。横浜市をはじめ、自治体なども様々な形で参加しています。また近年、社会貢献と経済的な利益を両立させることを目的とした「ゼブ

「ラ企業」がスタートアップとして立ち上がっており、養殖の餌の開発（菌類から餌料を製造）、藻場の復活（増えすぎた身の入らないウニを採り、藻場を復活させる）やCO₂を吸収する藻類の陸上養殖などの社会貢献事業を開始しています。

次世代に健全な海の環境と豊かな魚介類を残すことが、現世代の責務でもあります。このような現状に対しての解決策や対応策の具体的な議論と大規模な対策の実施が今必要となっています。温暖化対策を進めることは、今後の日本が発展するための新しい海洋における経済活動、ブルーエコノミー（海の社会的公正と持続可能な経済活動）としての大きなチャレンジと言えます。

8. 自給率の改善や海のために進めるべき課題提案

我々消費者が身近な食を中心に自給率を向上させるには、以下いくつかの方法が考えられます。

- ① 資源が豊富な魚介類の旬のものを食べる。
 - ② 地元で取れた魚介類を食べて、輸入品より国産のものを食べる。
 - ③ 未利用魚（アイゴ、タカノハダイ、シイラ、ボラ、その他）も活用する。
 - ④ 持続的な食材を選ぶ（穀物や野菜、ナッツ他、水産物の中では海藻）。
 - ⑤ 海や環境に良い企業（ゼブラ企業など）を応援する。
- 水産物が持続的であるために、政府がさらに進めるべき課題。
- ① 温暖化による海の環境変化を最小限に温暖化ガス削減目標の達成）。
 - ② 国内及び国際的に適切な資源管理を進める。
 - ③ 生物の増殖に不可欠な場（藻場、干潟、サンゴなど）の再生と環境管理。
 - ④ IUU（違法・無報告・無規制）漁業を撲滅する。
 - ⑤ 絶滅危惧種の保護など、生物多様性を守り、水産資源を増やす。
 - ⑥ 未利用魚の活用を進める（全漁獲量の3割が混獲・投廃棄魚）。
 - ⑦ 養殖の海への影響を少なくする（陸

上養殖、混合養殖、他）。

- ⑧ 養殖飼料を国内で生産する（自給率を上げる）。

- ⑨ 陸上養殖、藻場再生など、新しい水産及び環境技術の実用化、規模拡大。

- ⑩ 持続的な海を次世代に引き継ぐ。

今の温暖化は自然災害ではありません。人類最大の人災です。加害者である人類が必ず解決すべき課題です。

（2024年10月10日・公開講演会）

筆者略歴（かなまき・せいいち）

1973年に当時の経済産業省が設立を主導した、財閥系海洋開発ベンチャーの一つ、芙蓉海洋開発（株）に入社。当時の最新の海洋開発関連事業に参画。2006年（一社）マリノフォーラム21に開発部長として移籍。水産庁の各種補助事業や委託事業に参画。技術審議役を経て、2014年にマリノフォーラム21を退職、海洋環境コンサルティングを主業務にマリノパートナーズを設立。2021年、72歳で事業を整理し、魚食普及活動などをメインに活動中。

古代史探究の面白さと難しさ

——古代とつながる今の地を訪ねる

群馬大学名誉教授 相澤省一



1. 『火の路』を読む

定年を迎えた2014年、高校の4年後輩であるN君から松本清張の『火の路』を読むように勧められた。推理小説の形をとってはいるが、清張氏独自の（難解な？）古代史観が随所に出てくる本である。小説は「酒船石」を舞台に始まり、崇神天皇陵に移る。読み進めると史跡が次々に出てくる。なかでも「益田岩船」が大きく扱われ、何に使われた施設かと謎解きの話が進む。氏はこれを古代ベルシャの拝火教（ゾロアスター教）と関係がある石造物ではないかと推理を進め、イランへ

と謎解きの旅に出る……。読んで、清張氏の古代史観がすべて理解できたわけではないが、史跡が次々に出てきて興味深く、面白い。読後しばらくした9月半ば、小説に出てくる史跡を巡る旅に家内と出かけた。

2. 奈良県内の史跡巡り

あちこちとずいぶん歩いた。

崇神天皇陵から始め、大神神社、箸墓古墳、纏向の古墳及び遺跡、石舞台、酒船石、亀形石造物、飛鳥寺（大仏）、甘樫丘、伝飛鳥板蓋宮跡、益田岩船、飛鳥資料館（須弥山石など展示）、橘寺、亀石、鬼の俎・鬼の雪隠、

天武・持統天皇陵、欽明天皇陵、吉備姫墳墓、法隆寺、薬師寺（東塔は解体修理中）、唐招提寺、平城宮址（大極殿、朱雀門）、東大寺（二月堂、正倉院、大仏殿）、興福寺（国宝館）、猿沢池で終わる。小説にない史跡もいくつか見て回った。

「益田岩船」はバス停から少し歩き、見晴らしのきかない丘陵の斜面をジグザグにしばらく登ったところにあった。1年に一体何人の観光客が来るのだろうかと思うような場所である。巨大な石に登って雨水の溜まった四角の凹みの大きさを計ったりしたが、下で見ていた家内は蚊に喰われて大変だっ

たらしい。

偶然だがこの史跡巡りの一か月後、10月15日にNHK番組『歴史秘話ヒストリア』で「日本にもあった！ 謎の巨石文明」目覚める飛鳥「石の女帝」が放送された。女優の高島礼子さんが益田岩船をはじめ、私どもが見て回った石造物のほとんどを訪ねている。それによると、益田岩船は斉明天皇と娘の間人皇女の合葬墓として作られたが、途中で石にひびが入ってしまったため、製作中止になってしまったのではという。そして二人はその後作られた牽牛子塚（古墳）に葬られた



益田岩船（2014年9月17日撮影）

のではないかと解説があった。清張氏の推理とはまるで違う。しかしこちらの方が説得力があると思った。

箸墓古墳では見学を終えようとしたとき、車がすぐそばに止まって人が出てきた。古墳の説明をボランティアで行っている方らしく、20〜30分ほど詳しく説明してくれた。法隆寺の西円堂前でもやはりボランティアらしき人がおり、説明してくれた。その上、勧められて柿を食べたが、鐘は鳴っていなかったように思う。薬師寺や唐招提寺などは高校の修学旅行で来た（撮った写真がある）が、まるで憶えていない。甘樫丘に登ったとき、家内は初めてと言っていたが、後で写真を見たらやはり修学旅行で来ていたという。半世紀も前のことである。

宿泊には民宿やビジネスホテルを利用したが、記念にと最後は奈良ホテルに泊まった。

3. 歴史学ではなく化学へと進む

もともと歴史は好きだった。大学では理工系に進んだが、高校では「世界

史」と「日本史」の授業を真面目に受けた。3年生のとき、クラスで「日本史」の試験が4番か5番だった記憶がくすかにある。大学受験のとき、文学部の史学科に行きたいと思った。しかし化学も好きで、工学部の応用化学科に進み、卒業後も分析化学・地球化学を専門とする教育職に就いた。

その後65歳で定年を迎えるまで「歴史」の勉強とは無縁である。30歳ぐらいの独身時代に、いつか時間ができたら読もうと、当時予約出版だった「岩波講座」の『日本歴史』（黄色の箱入）と『世界歴史』（薄い青色の箱入）を購入した。いずれも30冊くらいあり、本箱の中で「存在感」があった。しかし、ページをめくった記憶はない。

それでも出張で仕事が終わった後、近辺の史跡を見て歩くことはあった。帰りに京都の嵯峨野に寄ったり、大宰府政庁跡や吉野ヶ里遺跡などに足を延ばしたこともあった。1月の寒い夜に仁徳天皇陵の外周を歩いたこともある。しかし、初めから史跡巡りを目的に出かけることは現職中にはなかった。

50代後半くらいからであろうか。過去を見る時間の感覚が変わってきた。若い頃よりも過去が近づいてきた。自分で生きてきた期間を時間のスケールにして現在から過去までの時間を推し量るようになったためだろう。古代史の舞台とはどのようなところか。その地に行くと史跡を見、周りの景色を眺めてみたいという思いが強くなった。定年の年にたまたま『火の路』を読んだことは、私を古代史の世界へ誘う大きなキッカケになった。

4. 古代史の勉強会へ入会（初めはまったく理解できない）

その後、先のN君に誘われて古代史の勉強会に参加した。新宿で月初めの土曜日に会員の一人かふたりが日頃の勉強成果を発表する集まりがある。初めの頃はちんぷんかんぷんだった。話に出てくる固有名詞がわからない。後ろの席に座る友人のT君から「相澤はいつも居眠りしている」とよく言われた。それでも勉強会は会の後に旧友たちと歓談するいい機会でもあって、群

馬から参加し続けた。

そのうち、古墳時代に榛名山の噴火で埋もれた「中筋遺跡」などを巡るバスツアーがあった。このとき配布された案内書に、埼玉古墳群の稲荷山古墳から出土した鉄剣に刻まれた辛亥年は471年である、との記述があった。これに気づいた同行のN君は「大変だ!」という。理由を聞くと、勉強会の主なメンバーは鉄剣の辛亥年は531年と言っているからだと答えた。これが私が古代史を勉強するようになった端緒である。

2020年の2月の勉強会で「炭素14年代測定法」でわかったことかわらないこと——さきたま稲荷山古墳鉄剣銘文の辛亥年」と題して話をした。鉄剣に刻まれた辛亥年は471年と確定したわけではない。ただし531年と決まったわけでもない結論し、この辛亥年が471年か531年のどちらになるかはこれから調べて1年後に報告しますと私は話を締めくくった。ところが、この私の話を最後として、翌3月から勉強会は新型コロナウイルス

イルスの感染拡大のために休止となる。勉強会は次々に順延となって、1年後の予定が丸々3年後（2023年5月）になってしまった。しかしその間、辛亥年の調べだけでなく、古代史の様々な史料や著書などに目を通す毎日となり、古代史を勉強するいい機会になった。

5. 辛亥年は471年か531年か、獲加多支鹵大王は雄略天皇か欽明天皇か

稲荷山古墳出土の鉄剣についてはご存知の方も多いと思われる。鉄剣は国宝に指定され、室素雫囲気のケース内に入り、埼玉県行田市にある「さきたま史跡の博物館」で常設展示されている。鉄剣自体は1968年に発見された。しかし錆がひどく、文字があることはわからなかった。博物館は1978年、鉄剣は錆による劣化がひどいので奈良の元興寺文化財研究所に保存のための修理を依頼する。その修理過程で文字が発見された。銘文は金で象嵌されており、X線撮影で115文字が浮

かび上がった。京都大学の岸俊男教授らが解説し、埼玉県教育委員会が1978年9月19日に発表した。ただし原文に読点はなく、「獲」は草冠がない。

(表) 辛亥年七月中記、乎獲居臣、上祖名意富比埵、其兒多加利足尼、其兒名弓已加利獲居、其兒名多加披次獲居、其兒名多沙鬼獲居、其兒名半弓比(裏) 其兒名加差披余、其兒名乎獲居臣、世々爲杖刀人首、奉事來至今、獲加多支鹵大王寺在斯鬼宮時、吾左治天下、令作此百練利刀、記吾奉事根原也

読みは次のように発表されている。

(表) 辛亥の年七月中、記す。ヲワケの臣。上祖、名はオホヒコ。其の兒、(名は) タカリのスクネ。其の兒、名はテヨカリワケ。其の兒、名はタカヒ(ハ) シワケ。其の兒、名はタサキワケ。其の兒、名はハテヒ。

(裏) 其の兒、名はカサヒ(ハ) ヨ。其の兒、名はヲワケの臣。世々、杖刀人の首と爲り、奉事し來り今に至る。

ワカタケ(キ)ルの大王の寺、シキの宮に在る時、吾、天下を左治し、此の百練の利刀を作らしめ、吾が奉事の根原を記す也

我が国内には4、5世紀の文字史料がほとんどない。鉄剣に刻まれた115文字の銘文の解釈は我が国の古代史を解明する上で大変重要な意味を持つことは誰の目にも明らかである。当時、大きなニュースになった。

解明すべき事柄はたくさんあるが、特に注目されたのは冒頭にある「辛亥」年がいつか、それから「獲加多支鹵大王」が誰をさすのか、である。

辛亥(年)というと、世界史で教わった中国の辛亥革命(1911年)を思い浮かべるが、鉄剣の辛亥年で該当する(だろう)年は471年から531年である。『日本書紀』の紀年は年代が遡ると実年代から大きく乖離する。しかし安康天皇あたりまでは大きな隔たりはないとされる。471年は雄略天皇在位年である。一方531年は『日本書紀』の紀年とは少し異なり、

昔から欽明天皇即位年説がある。

銘文発見以前、4、5世紀の我が国の歴史は「好太王碑」(現在は「広開土王碑」が一般的な呼称らしい)の碑文と中国の『宋書』に書かれた倭王武の上表文をもとに解釈されてきた。

好太王碑文(414年建立)には、

(前略) 百殘、新羅舊是屬民、由來朝貢、而倭以辛卯年來、渡海破百殘、□□新羅、以爲臣民。(中略) 十年庚子、教遣步騎五萬、往救新羅、從男居城至新羅城、倭滿其中。官兵方至、倭賊退。(後略)

と書かれており、『宋書』の上表文(478年)には、

封國偏遠、作藩于外、自昔祖禰、躬擐甲冑、跋涉山川、不遑寧處。東征毛人五十五國、西服眾夷六十六國、渡平海北九十五國、(以下略)

とある。

この二つの史料からは次のように読

み取れる。

4世紀後半に倭国は朝鮮半島に兵を進め、高句麗軍と戦った。そして5世紀後半には倭国は東（関東）西（南九州）の国々を支配下に置き、朝鮮半島にも進出していた。

銘文の辛亥年を471年、獲加多支鹵を雄略天皇、倭王武は雄略天皇とすると、それは上記の古代史説を裏付ける極めて重要な史料になる。しかし当時、これに反対する説をとっていた研究者が少なからずいた。独自の古代史観を持つ人たち、それから唯物史観に基づいて、国家の成立には律令制度の確立が必要でそれは7世紀とする人たちである。これらの人たちは自説をひっこめない。上記の古代史説を是とする人たちと論争になった。3年の間、論争に係わる論文や解説記事、著書に可能な限り目を通した。大変な数である。

詳しく書くことはできないので結論だけ述べるが、3年間の勉強に基づけば、辛亥年を531年、獲加多支鹵大王を欽明天皇あるいは地方豪族などの長とする説には無理がある。辛亥年は

471年、獲加多支鹵は雄略天皇とする説の方が分がある。

6. 牽強付会

3年の間にいろいろなことを学んだ。

その一つが「牽強付会^{けんきやうふかい}」である。定年になるまでこの言葉を知らなかった。理系の書ではまず出てこない（と思う）。新聞や雑誌、普通の本もそれなりに読んだつもりなので、どこかで目にはしたかもしれない。しかし頭に入らなかった。辞書を引くと「自分の都合のいいようにこじつけること」（『広辞林』第6版、1983年）とある。その後、山村聰著『釣りひとり』を読んでみると、牽強付会に「こじつけ」とルビがふられていた。なるほどと納得した。

理系では「捏造」の言葉がある。実験データを都合のいいように改竄する、あるいはないものがあるかのようになり出すことである。自分の説と明らかに合わない実験データが得られたとき、それを自説と整合させるのは至難の技である。自説にこだわる場合、得られたデータを自説に合うように改

竄するか、ないデータを作り出すことになる。絶対にあつてはならないことだが、ニュースになることがときにある。

古代史学では理系での実験データに相当するものは古文書や遺跡、遺物であろう。その改竄は極めて難しい。あるとき、それまで主張してきた自分の歴史観と合わない文字史料が発見されたとする。自説を曲げないとすれば、その文字史料を自説になんととしても“整合”させなければならぬ。鉄剣の銘文解釈のときにもそれが見られた。当時鉄剣の銘文出現に困った人物と名指しされた人たちが、それまでの自説を撤回したのは私の知る限り一人だけである。他の人は自説と辻褄が合うように銘文を解釈し、これまでの自説に誤りはないと主張した。その解釈には無理がある（牽強付会？）と私には思えた。

7. 倭王武

先にも記したが、中国王朝の正史『宋書』には478年に「倭王武」が上表文を皇帝に奉ったとある。この「武」の漢字表記について、古代史研究

者は、それは雄略天皇の幼武（ワカタケル）の「武」であり、遣使が上表文を奉ったときに我々の王は「武」と先方に伝えたのであろうと著書に書いている。しかし5世紀当時の「ワカタケル」は鉄剣の銘文によれば「獲加多支鹵」である。「武」を使っているのではない。

『宋書』に出てくる倭の五王（讃、珍、済、興、武）の特定（比定）は古代史の難問中の難問とされ、未だに確定していない。ところが「武」は雄略天皇で多くの研究者の見解が一致している。その理由は先に述べた通りであるが、納得がいかない。素人考えであるが、『宋書』が「武」と表記した経緯を私は次のように推測した。

478年の「上表文」の内容、それに加えて、遣使者によるワカタケル大王の人物像の説明から、宋朝の高官（文官）が倭王を『宋書』に「武」と表記したのではないか。

(1) 雄略天皇は生前、ワカタケ（キ）ルと称していた。

(2) 5世紀の倭国では、ワカタケ（キ）ルの漢字表記は「獲加多支鹵」であ

る。武の表記はまだない。

(3) 帝への上表文の内容と遣使者による倭王の人物評に「勇ましき」を見た宋の高官（文官）が倭王の名を『宋書』に「武」と表記した（中国語も武は勇ましいや勇猛の意）。

(4) 『日本書紀』の編纂者は『宋書』を見て、雄略天皇に「武」の漢字が使われているのを知った。そこでワカタケ（キ）ルの「タケ（キ）ル」に「武」の字を当て、「幼武」と表記した。

『日本書紀』完成の720年以前に、遣隋使と遣唐使は600年から717年（帰国718年）までに計14回派遣されている。遣使は帰りに中国の仏教関係の經典や書籍とともに史書を持ち帰っている。藤原佐世が891年頃に編纂した『日本国見在書目録』には、他の史書とともに『宋書』が名を連ねている。『宋書』は500年頃には全巻完成している。720年以前の遣使によって『宋書』が日本にもたらされた可能性は十分にあるのではないだろうか。

私の説の弱点は、他の讃、珍、済、興について、その漢字表記に明確な理由

付けができていないことである。史料に乏しい古代史の解明はなかなか難しい。

8. 3年間の勉強で次の言葉が印象に残った——「歴史を研究するものは長生きしなければいけない」

1960年代から70年代にかけて、江上波夫氏の「騎馬民族征服王朝説」は一世を風靡した。ご記憶の方も多いと思う。その江上氏が、ある雑誌でのインタビューに答えた言葉がある。

「私は長生きしなければいけないと思ったことがあるんです。私の先生だった濱田耕作先生が「学者は長生きしなければいけない」と言われたんです」と始める。次いで、英国の歴史学者の言を師の言葉を借りて「60歳や70歳の人はまだまだ歴史を振り返って見るような余裕はない。80歳や90歳になって、初めて自分の生きてきた時代全体がわかる。だから長生きしなければいけない」と江上氏は紹介した（『創刊100号にあたって』『東アジアの古代文化』100号、1990

年、2（5頁）。

江上氏は96歳で亡くなり、師の言葉を守った。しかし師の濱田耕作は京都帝大総長職にあった1938年に57歳で病死している。

9. 古代史の舞台の今を訪ね、 楽しみたい（温泉巡り）。

古代史の勉強は2023年5月の発表で一休みである。その後、故あってダグラス・マッカーサーの戦中戦後史を調べることになったことがその理由である。しかしそれだけではない。勉強よりも古代史に登場した舞台の今（史跡）を旅するほうが楽しい。残された時間もたくさんあるわけではない。

行きたいところは数え上げればきりが無い。代わりに、これまでに古代（史）に係わりるところは何処へ行っただろうか、記憶を思い起こした。先にいくつか記したが、それ以外にである。

百か所の温泉地を巡りたいと出かけ、これまで89か所の温泉に浸かった。文人墨客が入った温泉は結構ある。古代史と関係ある温泉はあるのだろうか。

か。調べると、有馬温泉（有間湯）には舒明天皇と孝徳天皇が行幸し、南紀白浜温泉（紀温湯、牟婁温湯、武漏温湯）には斉明、持統、文武の3天皇が行幸している。『日本書紀』（斉明天皇紀）には、飛鳥の地で捕らえられた有間皇子が紀温湯に護送されて中大兄皇子の尋問を受け、藤白坂で絞殺される（悲劇の）物語が詳しく書かれている。それに道後温泉（伊豫の湯）がある。允恭天皇の長子、木梨之輕皇子の流刑地とされる。また聖徳太子が訪れたことを示す碑文が『伊豫国風土記』逸文に残されている。斉明天皇紀に「御船泊于伊豫熟田津石湯行宮」とある。これも道後温泉だろうか。

『出雲風土記』には玉造温泉（川の辺に出で湯あり。出で湯のある所、海陸を兼ねたり。神の湯と言へり）、『豊後風土記』には別府温泉（速見の湯）、『肥前風土記』には現在の嬉野温泉と武雄温泉に比定される温泉、『撰津風土記』には有馬温泉（鹽の湯）が記されている。『伊豫国風土記』は、速見の湯を伊豫の湯へ下樋（海底導水

路？）を通して持ってきて、病の宿奈比古那命に浴せるとその病が治ったとする逸話も載せている。

出かけたことのない温泉は、大宰府に赴任した役人などが入ったと言われる「次田（あるいは「すきた」）の湯」（現在の二日市温泉）である。728年大宰府に帥（長官）として赴いた大伴旅人は、赴任中に妻を亡くした。その妻を偲んで湯の原（次田の湯）で詠んだとされる歌が『万葉集』に巻61961番歌として収録されている。

湯の原に鳴く蘆鶴（あしたづ）は吾が如く妹に恋ふれや時わかず鳴く

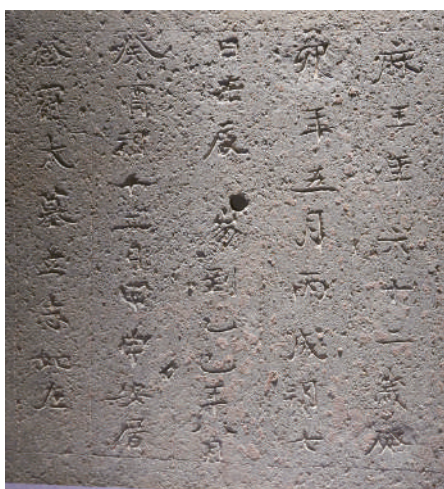
番外編がある。長崎県の「壱岐」には「湯本温泉」があり、応神天皇が生まれたとき、神功皇后が産湯として使った温泉であると、ある旅館の脱衣場に書かれていた。ただし真偽のほどは定かでない。

10. 武寧王陵に眠っていた墓誌

2019年4月、かつての百済の

地、韓国忠清南道公州市にある宋山里古墳群の武寧王陵に出かけた。近くの国立公州博物館に出土品が展示されており、その中に石板に刻まれた武寧王の墓誌があった。亡くなった年が癸卯年（523年）と明記されている。『日本書紀』の記述とも一致し、我が国の古代史研究のための第一級史料である。1971年の発見であるが、密閉された墓室内にあったため風化を免れ、1500年の時を経ても、刻んだ漢字が明瞭に読める。それを目の当たりにした。

11・ペルシャ戦争の古戦場跡を ちらっと見る



武寧王の墓誌

2019年9月、マケドニアからギリシャにかけて旅行した。観光の目的地ではないが、移動の途中、「テルモピレー」を通った。「ペルシャ戦争」の有名な古戦場である。先述の濱田耕作が書いた随筆のなかに「希臘テルモピレーの温泉」がある。温泉水が湧き出ていることでも有名である。

レオニダス率いる少数のスパルタ軍部隊がクセルクセス率いるペルシャの大軍を迎え撃ったところで、当時（紀元前480年）は道路のある海岸線まで山が迫る狭隘の地で、ギリシャ軍の防御陣地として最適の場所だった。しかし、現在は海岸線沿いに土砂が堆積し、海岸線は山肌から離れていた。海岸線から陸地側に入ったところにある舗装道路をバスは走る。しかもツアー旅行のコンダクターからテルモピレーの戦いの「ガイド役」を急に頼まれて断ることもできず、マイクで説明、史跡付近をよく見る余裕がなかった。

思い起こすと、ペルシャ戦争にまつわる場所へは二十数年前にも出かけている。石油貯留岩の調査で、ペルシャ

の地、イランに調査メンバーの一人として出掛けた。

テルモピレーの戦いの150年後、紀元前330年、アレキサンダー大王がペルシャの都（ペルセポリス）へ攻め込み、都から退却するペルシャ王のダレイオスを捕えようと、都から北上、現在のテヘランの東方まで追撃したことがある。『アレクサンドロス大王東征記』を読むと、そのとき大王が追撃で通ったと思しき道路を我々は通った（らしい）。当地で砂漠の中を通る道路は数少なく、地図を見て間違いないだろうと思った。

2001年8月末、我々はペルセ



イラン・アバデー付近の岩石砂漠（2001年8月29日撮影）

ポリスの北方約150 kmのアバデー (Abadeh) に宿をとり、ザグロス山脈の山中で地質調査と岩石試料の採取を行ったが、ペルセポリスの遺跡を見る機会はなかった。

12・古代史の史跡と戦争との関係——古戦場を見たい、しかし……

人類の歴史は戦争の歴史でもある。幾多の戦いで命を落とした名もない戦士は数知れない。戦士でなくても戦争で命を落とした人がたくさんいる。古戦場や攻め滅ぼされた史跡を訪れて昔を偲ぶのは、本来、戦さのない平和なときにこそ相応しいものであろう。しかし現在もウクライナ戦争など戦争や紛争が後を断たない。

先ほどマッカーサーのことを調べていると書いた。マッカーサーは晩年(82歳)、1962年5月12日にウェストポイントにある陸軍士官学校で士官候補生を前にスピーチし、最後に次のように述べた。

諸君は戦争屋 (warmonger) になってはいけない。兵士は他の誰よりも平和を願い、祈っている。なぜなら、戦いで負傷し、重い傷を負ってそれに苦しまなければならぬのは兵士たちだからである。しかし、私たちの耳にはプラトンの不吉な言葉「死者だけが戦争の終わりを見る」が常に鳴り響いている

“Only the dead have seen the end of war.”

これは、人は生きている限り、戦争の終わりを見ることはない、言い換えれば、いつの世になっても戦争はなくなる、ということを表わす言葉と理解される。プラトン(紀元前427〜紀元前347)はアレキサンダー大王(紀元前356〜紀元前323)と時が一部重なり、戦争が絶えなかった時代を生きた。そのときの言葉である。それが2千数百年後にも使われ、さらに今日でも国際情勢がそれを実証している。

現実には厳しい。プラトンの言葉は我々に重くのしかかる。しかし、いつ

の日になるかわからないが、戦争のない平和なときがきて、古戦場を訪れる旅ができるようになることを乞い願うものである。

いろいろ考えると出かけるところに迷ってしまうが、近隣にある古墳を訪ね、古代の史跡巡りを再開したい。小学校6年のとき、遠足で「吉見の百穴」に出かけた。もう一度行ってみようと思う。

筆者略歴(あいざわ・しょういち)

1971年群馬大学工学部応用化学科卒業、1973年同大学大学院工学研究科修士課程修了、同大学工学部で助手、助教授、准教授を経て教授、2014年定年退職。同年から2019年まで放送大学群馬学習センター客員教授。

専門：分析化学、地球化学。河川水や温泉水、石灰石などの化学堆積物、メタンハイドレートを含有する海底堆積物の化学成分分析、土壌中の放射性セシウムの分析を行う。

陶々俳壇

陶句会
結果
2024年10月

兼題 「夜長」

馬場由紀子

冗漫な文削りゐて夜長し

松島二三四

◎由紀子 俳句を詠むことに慣れてくるとついつい散文も短くしたくなる、俳人あるある。夜長の季語がより一層文学に耽溺している作者の像を浮かび上がらせる。

◎明良

昔日や暗渠に沿うて彼岸花

〃

◎正子

「昔日」「暗渠」「彼岸花」で、暗渠となる前の川縁の景色が思い浮かびます。

◎京

◎由紀子

川の土手を彩っていた彼岸花。いつの間にか相棒のような川が消えてしまつて、美しい彼岸花の赤がどこか抗議めいて見える。

好物の栗蒸し羊羹恩師訪ふ

〃

◎善一

みやげ話も弾んだことでしょう。

◎紅杓

路地めぐる胡同つぎつぎ風の盆

大内善一

◎紅杓

越中おわら節の哀愁に満ちた旋律にのつて、坂が多い道すじで無言の踊り手たちが踊りを披露する風の盆。富山県の代表行事で富山市八尾地区で9月1〜3日に開催される。一度、見てみたいと思う。

◎由紀子

風の盆の妖しい雰囲気がよく出ている。「風の盆路地めぐる胡同かな」でも。

爽籟や気高き穂高巍巍と立つ

〃

◎正堂

穂高に對しその山容の気高さを感じてる。長き夜や怒濤寄せ来る鄙の宿

〃

◎明良

怒濤の表現が鄙の静かな秋の夜長に押し寄せるように句が躍動しています。旅の宿で慣れない波音になかなか眠れない。波音が長き夜を統べる。

◎由紀子

一点の曇なき空月皓皓

日野正子

◎善一

旧曆八月十五日、一年中でこの月が最も澄んで美しいとされる。秋草や虫の音、夜霧や秋風などの風物の佇まいがよい。穂芒を挿して、月見団子や新芋など、その年の初物を供え月をまつるのは、収穫を祈る農耕儀礼の遺風である。満月がくっきりと雲なき夜空に輝いたことでしょう。

◎紅杓

鶏がらのスープの味の夜長かな

〃

◎二三四

いろいろな「夜長」の句がありました。ことごとくスープを煮出すのも秋の夜にふさわしい。「スープの味の」の「の」に意味が込められているのかも、とも思います。

柿の実に朱の差す朝や秋兆す

〃

◎紅杓

秋を柿の実に教えられたのでしょうか。

◎京

足音の神社に向かう長き夜

橋本紅杓

◎明良

秋の夜は神社で催し物もあり参拝客が続きますが表現を足音としたのが素晴らしい。作者のいる場所がどういふところかはわからないが、静寂であるからこそ足音に耳を傾けることができるのだ。

◎正子

何が起こっているのか。妖しい雰囲気でもあるが、地域の祭かもしれない。「足音の神社に向かう夜長かな」でも良し。

◎由紀子

煌々と庭の明るき夜長かな

〃

◎善一

「煌々と」で月の明るさを感じられる。

史上初続く暑さや夜長し

〃

◎明良

秋風に吹かれる夜長は過去のものになりそうです。気候変動も一過性のものだと願う。

◎京

囲碁戦で秋の夜長に息を止め

瀬崎明良

◎正子

「息を止め」に澄んだ張り詰めた空気を感じます。

◎由紀子

白熱しているのですね。「対局を前に息止め夜長かな」「長き夜や暮の展開に息を止め」といった形にしたい。

枯れた身で秋の夜長をいかにせん

〃

◎京

九十の我が身実感があります。

◎紅杓

身は枯れても、心豊かなればもてあますことはないでしょう。

孫育ち秋晴れ哀し出番なく

〃

◎由紀子

秋晴れとお役御免となった身の寂しさの対比が良い。表現がごたごたとして十分に伝わりきれないところが惜しいので「秋晴れの身の淋しさと孫育つ」としてはいかがですか。

檸檬喰む十の門みな開け放ち 馬場由紀子

◎二三四

「十の門」は家の扉すべてと読みました。窓もドアも開け放ち秋風が吹き抜ける居間が食堂で、青みの残る国産レモンを齧る。

爽やかな酸味は喉から胃の腑、そして神経から脳をも浄化し、作者は季節と同一化するのです。レモンは年中見かけますが、季節として本来の季節を思い出させてくれるのも俳句の効能ですね。

眉月の闇にこそ目を凝らしけり

〃

◎正子

闇に何かありそうと見た面白さ。三日月の光は弱く闇は濃い。しかしその闇にだけ存在するものがある。逆説の真実か。新たな視点をいただきました。

◎明良

趣あるものが薄闇に隠れていそげ意味深長な句です。

*旧かな、新かな、作者の意図に任せる。

中国

ウエッチング

編・訳 上松玲子

職業は借金の肩代わり

「他人の融資に協力するだけで「大儲け」できる」という話を真に受け、結局は「老頼」（悪質な債務不履行者）としてブラックリスト入りし、日々に籠るしかなかった人々がいる。報道によると、一部の出稼ぎ農民労働者の中には「プロの債務者」にされて、報酬と引き換えに飛行機にも高速鉄道にも乗れなくなり、借金の取り立てに耐え続ける人がある。

プロの債務者とは、報酬を

もらい他人のために多額の借金を負う者だ。債務の移転によるものや、架空の資産を保に銀行から高額融資を受けさせるというものがある。

目を付けられるのは収入が低く、緊急に金が必要で、教育レベルが低い人々だ。目先の利益のために生涯にわたり信用を失い、本人のみならず家族も生活のあらゆる面で影響を受ける。しかも彼らの行為は違法であり、重大な場合には詐欺、融資詐欺などの罪で刑事責任が問われることもある。社会的にも大きな損失を与える行為である。

『人民日報評論版』2024年10月22日

高齢労働者をどう守る

四川省徳陽市羅江区在住の李さん（仮名）は61歳、ある日仕事の清掃作業中に階段で滑って転倒し、股関節を骨折し障害9級を負った。地元的不動産会社で長年清掃業務を

してきた彼女は、定年を過ぎ年金も受給しているため、会社と労働契約を結ばず、労働災害認定が難しかったため、やむなく民事訴訟で不動産会社に賠償金の支払いを求めるしかなかった。

2024年3月、羅江区人民法院の調停で、双方は李さんの損害が22万元以上であること、不動産会社が責任の70%である13万元を、李さんが30%を負担することで合意した。これは特別なケースではない。現在男性60歳、女性50歳の定年を過ぎても働き続ける人は多い。今年10月に民政部や国家高齢化対策局などが共同発表した都市部の高齢者に関する公報によれば、2021年では19%の高齢者が仕事で収入を得ている。また民政部と全国老齡工作委员会の公報によると2023年末現在全国の60歳以上の高齢者人口は2億9697万人という。

専門家は、働く能力と意志のある高齢者がいて、雇いたいという業者がある以上、彼らの権利を制度上排除するべきでないとして、高齢労働者の權益を保障する新たな制度の構築を主張している。

『法治日報』2024年10月30日

高層ビルからの落とし物

2023年6月、吉林省長春市で男が32階から投げたレングスが買い物中の28歳の女性の頭に当たり、女性は死亡した。2024年10月21日、最高人民法院は上告審で被告の死刑判決を支持し、刑は即時執行された。

この厳罰は犯罪に見合うものだ。高所から物を投げる行為は「街を覆う痛み」と呼ばれ、慢性的な社会病となっている。都市化が進み、高層住宅の住人が増加し、再三禁じられてもなお、高所からの物の投げ落としはやまず、多く

の被害が出ている。

2019年11月、最高人民法院は故意にこうした行為を行った者は、状況に応じて公共の安全を脅かす罪、傷害罪、

または殺人罪で処罰される可能性があるという意見を出した。2021年2月、最高人民

法院および最高検察院は高所抛物罪を規定し、同年3月

1日、刑法改正案十一号の施行により、正式に刑法に盛り込まれた。

報道される事例を見ると、かかる行動には主にごみを階下に捨てに行くのが面倒で投げ捨てるケースや、子どものいたずらや憂さ晴らしで重い物を投げる事案などがあり、根底に、人に当たるわけがない、見つかるはずがないという安易さがある。死刑になった男は法廷で、自活できず世の中が嫌になり、社会に恨みを抱き、不特定多数を傷つけようとしたことを認めた。

厳罰自体は目的ではない。

刑法に記された処罰が実際にあると示すことで、社会への警告と抑止力になるのだ。

『人民政協報』2024年10月31日

高齢者教育産業の展望

40年あまり、高齢者教育は公立の老年大学が主力であったが、定年を迎える人口が年々増加する中、民間企業も参入の未来を描けるようになった。現在も7割を占める公立の老年大学は1コース当たり2、300元と学費が安い。非営利が主力の市場で、高齢者が自身の教育にどの程度まで費用を払うのか、新規参入業者の力量が試される。

謝さんはがんを患った母親が家にこもりがちにならないよう、老年大学を勧めたが、希望者が多く地域の老年大学は満杯。そこで自分で老年大学を始めることにした。

2020年9月、事業は順

調に滑り出し、済南市に16の拠点を開いたが、コロナの流行を機に2022年に13か所を閉鎖して、フランチャイズ事業に転換した。現在500を超える加盟校を抱える。

この2年の間、多くの開拓者が高齢者教育市場に参入している。出生数減少の中、幼稚園や就学前教育の事業者の参入も多く、都市部では価格競争や学生の取り合いになっている。今年9月には広州市花都区の育徳幼稚園の老年大学参入のニュースが話題になった。開校初期のターゲットは45歳から65歳の園児の祖母で、孫を幼稚園に送った後、同じ建物の上階の老年大学で学べるというものだ。

老年大学は生活範囲や社会的関係が狭まる退職後の高齢者のライフスタイルを変える良い方法だが、「高齢者の信頼と認知を得るのは簡単ではない」という声もある。謝さ

んも、この分野の参入には適不適があると述べ、「高齢者への教育は奉仕であり、骨の折れる難しい仕事だ」という。

経営については「高齢者の教育支出は一定で、生徒数が確保できれば必ず黒字になる」と彼はいう。彼の学校は開校以来5年間で4度の値上げを経て当初の1コースあたり500元前後から現在の1000元前後になった。「値上げのたびに、多くの学生が去るが、全体数は変わらず、最終的に高学歴・高所得層が残る。彼らは非常に粘り強い」そうだ。

また、民間の老年大学を信用しない高齢者もいる。

高齢者のニーズに応じて個性的、実践的な学習コースをどれだけ細かく設計できるかが、今後の課題となるだろう。評価や監督システムを整える必要も指摘されている。

『中国新聞週刊』2024年11月13日



◆令和6年度第8回理事会の議題（11月21日開催）

今月は下記内容で審議を行った。

・確認事項

10月17日に開催された第7回理事会の議事録（案）が確認された。

・決議事項

新会員1名（横江信義氏）の入会が承認された。

・協議事項

①公開講演会のYouTubeへアップする件について、試作品をもとに次回理事会で視聴・意見交換を行うこととした。

②協会の保有する満洲関連資料については、「満洲の記憶」研究会で整理保存してもらうこととした。

・報告事項

①委員会報告（定例報告）

②事務局報告

11月28日15時から新会員（7

名）の歓迎会を開催する。

◆自衛消防訓練の実施

理事会終了後、例年通り協会ビルの自衛消防訓練を実施した。
（事務局長 竹前栄男）

会員だより

◎新会員

＜正会員＞ 横江信義氏

同好会だより

＜俳句会＞ 馬場由紀子先生

毎月第2水曜日午後1時から、オンライン（ズーム）での俳句会を開催。未経験者も大歓迎です。興味のある方は事務局までご連絡ください。

＜謡曲会＞ 松木千俊先生

お稽古は一人ずつの個人指導。未経験者も大歓迎。興味のある方は事務局までご連絡ください。

＜一石会＞

囲碁初心者歓迎。1月11日（土）は会費無料懇親会開催。興味のある方は事務局までご連絡ください。

みんなの写真館

スキーより絶景の北志賀

（表紙）

写真は、北志賀小丸山スキー場でスキーをする前に山頂から撮ったもの。このスキー場は北志賀の雄大な北斜面に位置する。

今年2月に2日間かけて、竜王スキーパークを訪れ、1日滑った後、翌朝、隣の小丸山スキー場に移動した。滑る前にまず、日本最大級の16人乗りロープウェイに乗り、長野県北志賀竜王の竜王マウンテンリゾート内にある標高1770呎のレストラン、ソラテラスに到着した。そこから見た絶景は息をのむほど素晴らしい。運よく、この日は、よく晴れ、雪を被った北アルプスや妙高山、斑尾山などがくっきり見えた。2日間のスキーより、この絶景が忘れられない。

（姜晋如）

浙江省杭州↓義烏↓景德鎮
↓南昌

（表4）

2019年4月、新しく開通した高速鉄道の旅に出た。義烏市は小商品卸市場として国際的に有名になった。かつての田舎町が今や280万人の人口を擁する、約6万人が出店する東京ドーム70個分の国際商貿城（卸売市場）をもつ近代都市に変貌している。景德鎮は歴史ある陶磁器の都だ。戦災孤児の友人が就職した地。彼は1980年代に佐賀県有田市に帰国、自前の窯を立ち上げ、景德鎮風の作品に仕上げた。

南昌市は、人民解放軍発祥の地だ。蒋介石が反共に転じたため、第一次国共合作が壊れ、中国共産党が武装蜂起（1927年8月1日）して艱難辛苦の戦いに突き進む。

（新宅久夫）

2025年1月の行事予定

- 7日（火） 14：00 謡曲会（松木千俊先生お稽古）
- 9日（木） 12：00 新年互礼会（於 当館5階会議室）〈会費2,000円〉
※会員で参加希望の方は事前に事務局までお申し込みください。
- 11日（土） 11：00 一石会囲碁新年例会（於 7階談話室）
- 15日（水） 13：00 俳句会
兼題「小正月」および当季雑詠から5句を投句（12月27日までに）
- 17日（金） 14：00 公開 第5回【21世紀アジア塾】講演会（講演委員会と共催）
「『中国観察報告』から」（仮題）
結城隆氏（多摩大学客員教授、当会会員）
- 23日（木） 14：00 公開 第26回対面&オンライン講演会
「マジックショーでの商工会経済人等との交流—Magic Brain/マジック脳になろう！」
野口雅代氏（オーロラ・ビジネススタイル研究所代表&マジシャン）
- 30日（木） 14：00 公開 第27回対面&オンライン講演会
「歴史を問い直すことの意味、政軍関係の具体的な事例と課題」
額額厚氏（山口大学名誉教授）

1月の会議予定

14日（火） 13：00	環境委員会	21日（火） 15：00	国際交流委員会
16日（木） 13：00	理事会（第10回）	22日（水） 13：00	東北委員会
16日（木） 15：30	広報委員会	24日（金） 14：00	講演委員会

※下線は通常日程に変更あり。

【2月最初の講演会予定】

- 6日（木） 14：00 公開 第28回対面&オンライン講演会
「ちひろと中国」
平山知子氏（弁護士）
- 13日（木） 14：00 公開 第29回対面&オンライン講演会
「揺らぐ国際秩序と混迷する世界」
林康夫氏（日本貿易振興機構顧問、元同理事長、国際経済連携推進センター理事長）



みんなの 写真館

INTERNATIONAL GOOD NEIGHBORHOOD ASSOCIATION (IGNA)

<https://www.kokusaizenrin.com>

発行所

〒

一〇五〇〇〇四

東京都港区新橋一五五

一般社団法人 国際善隣協会
電話 〇三三五七三三〇五一番代表